



## 平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年2月2日

会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社

(URL <http://www.nic-inc.co.jp/>)

(JASDAQ・コード番号：5742)

代表者 代表者役職・氏名 代表取締役社長 西川浩司

問合せ先 責任者役職・氏名 執行役員経営企画室長 光用勝也 TEL (03) 5530-8066

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 中間財務諸表の作成基準をベースとし、棚卸資産の計上、引当金の計上、税金費用の計上及び影響額が僅少ななものについては一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 (注) 当第3四半期は四半期業績開示の導入初年度のため、前年同四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

### 2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況 (金額は百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年3月期第3四半期	5,285	(—)	345	(—)	339	(—)	188	(—)
平成18年3月期第3四半期	—	(—)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
(参考)18年3月期	4,730	(△17.8)	358	(18.7)	370	(22.7)	221	(41.1)

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
平成19年3月期第3四半期	3,527 87	—
平成18年3月期第3四半期	—	—
(参考)18年3月期	4,438 58	—

- (注) 1. 期中平均株式数 平成19年3月期第3四半期 53,509株 平成18年3月期 50,000株  
 平成18年6月22日に新株の発行5,000株を行っております。
2. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年増減率であります。

#### [経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国の経済は、個人消費に若干弱さがみられたものの、企業の収益や設備投資は堅調であり、緩やかな景気回復が続きましたが、原油価格の動向等に先行き不透明感は拭えない状況が続いております。また、下半期以降の工作機械業界において、一部に昨年来の過熱状態が緩和し、調整が図られる状況も見受けられました。

当社は、このような経済環境の中、依然好調な次世代のフラットパネルディスプレイ（FPD）や自動車部品の製造関連企業から継続的な受注があり、売上高は5,285百万円、営業利益は345百万円、経常利益は339百万円、四半期純利益は188百万円となりました。

部門別売上高は次のとおりであります。

アルファフレーム部門	1,450百万円
装置部門	1,639百万円
商事部門	2,195百万円
合計	5,285百万円

当第3四半期における部門別の販売概況は次のとおりであります。なお、当第3四半期は四半期業績開示の導入初年度のため、前年同期との比較は行っておりません。

アルファフレーム部門は、中日本地区における自動車関連分野の需要が昨年を下回っているものの、液晶・半導体関連分野の需要が堅調に推移しており、特に東日本地区における売上が好調に推移いたしました。

た。このような状況の中で当部門の第3四半期における売上高は1,450百万円となりました。

装置部門は、継続しておりました自動車部品用大型洗浄&計測装置の売上が一服したものの、中型洗浄装置の売上は堅調に推移いたしました。カスタムクリーンブース・専用型材の売上も次世代FPD製造設備用を主として好調に推移いたしました。部品・その他に関しましても、マシンカバー用やFPD製造装置用の需要が大幅に伸張いたしました。このような状況の中で当部門の第3四半期における売上高は1,639百万円となりました。

商事部門は、好調な景気の持続を背景に、大型機械設備をはじめ、一般機械設備及び消耗品等が着実に受注に結びつくよう営業活動を展開してまいりました。当第3四半期には主に上半期に受注しました大型機械設備案件や部品組立機等の売上が集中いたしました。このような状況の中で当部門の第3四半期における売上高は2,195百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年3月期第3四半期	5,335	2,682	50.3	48,763 64
平成18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	3,977	2,285	57.4	45,709 58

【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成19年3月期第3四半期	284	△33	170	588
平成18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	77	66	△167	167

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

(資産・負債・資本の変動状況)

当第3四半期末における総資産は、前事業年度末と比較して1,358百万円増加し5,335百万円となりました。これは主に装置部門におけるクリーンブースや商事部門における大型設備案件等にかかる受取手形及び売掛金の増加820百万円、公募増資及び運転資金借入等による現金及び預金の増加421百万円、さらに装置部門におけるクリーンブースの仕掛等によるたな卸資産の増加117百万円があったことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比較して961百万円増加し2,653百万円となりました。これは主に裏書譲渡手形の原則廃止といった支払条件の変更や、装置部門における外注加工費及び商事部門における機械設備等の購入にかかる支払手形及び買掛金の増加1,014百万円があった一方で、借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末と比較して396百万円増加し2,682百万円となりました。これは主に公募増資による資本金及び資本剰余金の増加262百万円があったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して421百万円増加して588百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は284百万円となりました。これは、税引前四半期純利益339百万円に、仕入債務の増加994百万円等による資金の増加があった一方で、売上債権の増加819百万円、装置部門におけるクリーンブースの仕掛等によるたな卸資産の増加117百万円及び法人税等の支払173百万円等による資金の減少が主な要因です。

投資活動の結果使用した資金は33百万円となりました。これは金型やフォークリフトといった有形固定資産の取得による支出12百万円等による資金の減少が主な要因です。

財務活動の結果得られた資金は170百万円となりました。これは、株式の発行による収入251百万円及び短期借入金の純増減額40百万円による資金の増加と、借入金等の返済による支出83百万円及び配当金の支払額37百万円による資金の減少が主な要因です。

○ 添付資料

「(要約) 四半期貸借対照表」、 「(要約) 四半期損益計算書」、  
「(要約) 四半期株主資本等変動計算書」、 「(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書」、  
「生産、受注及び販売の状況」

以 上

[参 考]

平成 19 年 3 月期の業績予想 (平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円 6,860	百万円 400	百万円 231

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 4,292 円 32 銭

※ 平成 18 年 6 月 22 日の新株式の発行 5,000 株を加味した期中平均株式数により算出しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 19 年 3 月期の通期業績予想につきましては、本日付「平成 19 年 3 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」に業績予想の修正を発表しております。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

[添付資料]

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位:千円、%)

科目	当 四 半 期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増減		( 参 考 ) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	588,737	—			167,115
2 受取手形	1,328,617	—			967,641
3 売掛金	1,076,743	—			617,550
4 たな卸資産	635,858	—			518,628
5 その他	48,837	—			39,672
貸倒引当金	△530	—			△821
流動資産合計	3,678,264	—	—	—	2,309,786
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	1,315,718	—			1,314,018
減価償却累計額	△677,000	—			△647,363
(2) 土地	456,904	—			456,904
(3) その他	489,308	—			453,127
減価償却累計額	△345,347	—			△333,836
有形固定資産合計	1,239,583	—			1,242,852
2 無形固定資産	10,435	—			11,841
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	227,955	—			251,612
(2) その他	212,862	—			195,701
貸倒引当金	△33,700	—			△34,400
投資その他の資産合計	407,117	—			412,913
固定資産合計	1,657,137	—	—	—	1,667,607
資産合計	5,335,402	—	—	—	3,977,393

(注) 当期より「四半期財務・業績の概況」の開示を行うため、前年同四半期については記載していません。

(単位:千円、%)

科目	当 四 半 期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増減		(参 考) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形	1,073,324	—			496,302
2 買掛金	765,441	—			328,216
3 短期借入金	400,000	—			360,000
4 一年以内返済予定の長期借入金	2,222	—			65,941
5 一年以内償還予定の社債	40,000	—			40,000
6 賞与引当金	18,995	—			39,910
7 その他	213,121	—			191,269
流動負債合計	2,513,104	—	—	—	1,521,641
II 固定負債					
1 社債	40,000	—			60,000
2 繰延税金負債	1,072	—			20,386
3 退職給付引当金	99,224	—			89,886
固定負債合計	140,297	—	—	—	170,272
負債合計	2,653,401	—	—	—	1,691,913
(資本の部)					
I 資本金	—				25,000
II 資本剰余金	—				15,000
III 利益剰余金	—				2,147,082
IV その他有価証券評価差額金	—				98,396
資本合計	—				2,285,479
負債・資本合計	—				3,977,393
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	156,100	—			—
2 資本剰余金	146,100	—			—
3 利益剰余金	2,298,356	—			—
株主資本合計	2,600,556	—	—	—	—
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	81,443	—	—	—	—
純資産合計	2,682,000	—	—	—	—
負債・純資産合計	5,335,402	—	—	—	—

(注) 当期より「四半期財務・業績の概況」の開示を行うため、前年同四半期については記載しておりません。

## 2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科目	当 四 半 期 (平成19年3月期 第3四半期)	前 年 同 四 半 期 (平成18年3月期 第3四半期)	増 減		( 参 考 ) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	5,285,514	—	—	—	4,730,269
II 売上原価	4,234,635	—	—	—	3,454,244
売上総利益	1,050,878	—	—	—	1,276,024
III 販売費及び一般管理費	705,723	—	—	—	917,275
営業利益	345,155	—	—	—	358,749
IV 営業外収益	8,868	—	—	—	20,547
V 営業外費用	14,578	—	—	—	8,563
経常利益	339,446	—	—	—	370,733
VI 特別利益	3,442	—	—	—	35,333
VII 特別損失	3,138	—	—	—	23,752
税引前四半期(当期)純利益	339,749	—	—	—	382,314
法人税、住民税及び事業税	146,059	—	—	—	162,089
法人税等調整額	4,917	—	—	—	△1,704
四半期(当期)純利益	188,773	—	—	—	221,929

(注) 当期より「四半期財務・業績の概況」の開示を行うため、前年同四半期については記載しておりません。

3. (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当四半期 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日)

(単位：千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成 18 年 3 月 31 日残高	25,000	15,000	15,000
当四半期中の変動額			
新株の発行	131,100	131,100	131,100
剰余金の配当 (注)			—
四半期純利益			—
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額 (純額)			—
当四半期中の変動額合計	131,100	131,100	131,100
平成 18 年 12 月 31 日残高	156,100	146,100	146,100

(単位：千円)

	株主資本				
	利益準備金	利益剰余金			株主資本 合計
		その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
		別途積立金	繰越利益 剰余金		
平成 18 年 3 月 31 日残高	8,750	1,430,000	708,332	2,147,082	2,187,082
当四半期中の変動額					
新株の発行				—	262,200
剰余金の配当 (注)			△37,500	△37,500	△37,500
四半期純利益			188,773	188,773	188,773
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額 (純額)				—	—
当四半期中の変動額合計	—	—	151,273	151,273	413,473
平成 18 年 12 月 31 日残高	8,750	1,430,000	859,606	2,298,356	2,600,556

(単位：千円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
平成 18 年 3 月 31 日残高	98,396	98,396	2,285,479
当四半期中の変動額			
新株の発行		—	262,200
剰余金の配当 (注)		—	△37,500
四半期純利益		—	188,773
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額 (純額)	△16,952	△16,952	△16,952
当四半期中の変動額合計	△16,952	△16,952	396,520
平成 18 年 12 月 31 日残高	81,443	81,443	2,682,000

(注) 平成 18 年 6 月の定時株主総会における利益処分項目であります。

#### 4. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区分	当 四 半 期 (平成19年3月期 第3四半期)	前 年 同 四 半 期 (平成18年3月期 第3四半期)	( 参 考 ) 平成18年度3月期
	金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純利益	339,749	—	382,314
減価償却費	47,344	—	62,461
減損損失	—	—	19,739
貸倒引当金の増減額(減少：△)	—	—	—
賞与引当金の増減額(減少：△)	△20,915	—	4,653
退職給付引当金の増減額(減少：△)	—	—	4,846
支払利息及び社債利息	—	—	7,556
投資有価証券売却益	—	—	△34,439
売上債権の増減額(増加：△)	△819,831	—	321,295
たな卸資産の増減額(増加：△)	△117,230	—	△65,086
仕入債務の増減額(減少：△)	994,246	—	△443,097
未払消費税等の増減額(減少：△)	—	—	—
その他	38,027	—	△8,868
小 計	461,391	—	251,374
利息の支払額	—	—	△7,006
法人税等の支払額	△173,392	—	△168,209
その他	△3,269	—	1,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	284,730	—	77,543
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の預入による支出	—	—	△7,000
定期預金の払戻による収入	—	—	33,000
有形固定資産の取得による支出	△12,965	—	△10,436
有形固定資産の売却による収入	—	—	30,346
投資有価証券の取得による支出	△309,877	—	△4,803
投資有価証券の売却による収入	308,436	—	49,500
保険積立金の増加による支出	△17,263	—	△23,017
その他	△2,040	—	△1,078
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,709	—	66,511
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額(減少：△)	40,000	—	130,000
長期借入金の返済による支出	△63,718	—	△219,747
社債の償還による支出	△20,000	—	△40,000
株式の発行による収入	251,820	—	—
配当金の支払額	△37,500	—	△37,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	170,601	—	△167,247
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	—	—	—
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)</b>	421,621	—	△23,192
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	167,115	—	190,307
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期(期末)残高</b>	588,737	—	167,115

(注) 当期より「四半期財務・業績の概況」の開示を行うため、前年同四半期については記載しておりません。

## 5. 生産、受注及び販売の状況

### (1) 生産実績

当四半期の生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当 四 半 期 (平成19年3月期第3四半期)		( 参 考 ) 平成18年度3月期
	金額 (千円)	前年同期比 (%)	金額 (千円)
アルファフレーム部門	1,509,595	—	1,888,686
装置部門	1,798,743	—	1,531,278
合計	3,308,338	—	3,419,964

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 ①アルファフレーム部門の金額には、商事部門向けに生産された金額(42,261千円)が含まれております。  
 ②装置部門の金額には商事部門向けに生産された金額(158,957千円)が含まれております。

### (2) 商品仕入実績

当四半期の商品仕入実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	品目	当 四 半 期 (平成19年3月期第3四半期)		( 参 考 ) 平成18年度3月期
		金額 (千円)	前年同期比 (%)	金額 (千円)
商事部門	工業用砥石	155,104	—	223,628
	機械設備	1,222,837	—	330,295
	工具・ツール・油脂類	478,713	—	621,502
合計	1,856,654	—	1,175,426	

- (注) 1 金額は、仕入価格によっております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 「工具・ツール・油脂類」には、アルファフレーム部門における特殊取寄せ商品仕入金額(37,231千円)が含まれております。

### (3) 受注実績

当四半期の受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当 四 半 期 (平成19年3月期第3四半期)				( 参 考 ) 平成18年度3月期	
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
アルファフレーム部門	1,424,693	—	34,427	—	1,848,188	77,068
装置部門	2,048,983	—	757,560	—	1,412,618	348,362
商事部門	2,603,525	—	462,747	—	1,417,715	54,715
合計	6,077,202	—	1,254,735	—	4,678,522	480,146

- (注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

### (4) 販売実績

当四半期の販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当 四 半 期 (平成19年3月期第3四半期)		( 参 考 ) 平成18年度3月期
	金額 (千円)	前年同期比 (%)	金額 (千円)
アルファフレーム部門	1,450,601	—	1,804,054
装置部門	1,639,774	—	1,443,964
商事部門	2,195,138	—	1,482,250
合計	5,285,514	—	4,730,269

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。